

# 伊万里市DXアクションプラン

令和8年4月

伊万里市

# 目次

## はじめに

策定の背景・趣旨	3
----------	---

## 基本的事項

位置付け	4
------	---

計画期間	4
------	---

推進体制	5
------	---

基本理念	6
------	---

## 計画の取組

行動指針	7
------	---

取組指針	8
------	---

## 各種施策

市民サービスの向上	10
-----------	----

地域運営の充実	18
---------	----

持続可能な産業の発展	21
------------	----

個別最適な学びと創造性を育む教育の推進	25
---------------------	----

職員の業務効率化	31
----------	----

# はじめに

## 策定の背景・趣旨

近年、日本は少子高齢化と労働人口の減少という深刻な課題に直面しており、本市も例外ではありません。限られた職員で行政サービスを今後も維持することは、本市にとって重要な課題です。

こうしたなか、ICTやAIといったデジタル技術の進展は、社会のあらゆる側面に大きな変化をもたらしており、本市もデジタル化の波に乗り遅れることなく、積極的にデジタル技術を活用した市民サービスの向上や地域社会の活性化に加え、行政運営の効率化を図ることが求められています。

本計画は、日々進歩するデジタル技術を効果的に活用し、行政サービスをはじめとしたあらゆる分野においてデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」と略す。）の取り組みを進めることで、持続可能な社会の実現と市民の幸福度の向上を目指し、実行するものです。

## 位置付け

本プランは、国・県のデジタル化やDX推進における施策との整合を図りながら、本市の最上位計画である「伊万里市総合計画」が掲げる「人がいきいきと活躍する幸せ実感のまち 伊万里」の実現に向けて、DXの側面から下支えするものです。策定にあたっては、国が示す「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」や「自治体DX推進計画」などの各種方針を考慮しながら、本市においてDXを推進していくための指針として取り組むこととします。

なお、本プランは官民データ活用推進基本法第9条第3項に基づく「市町村官民データ活用推進計画」として位置付けます。

## 計画期間

近年のデジタル技術の進展は目覚ましく、社会構造に大きな変化をもたらしていることから、本市もスピード感を持った取り組みが求められています。

本プランでは、令和8年度から令和10年度までの3か年度を集中的な変革期間と設定し、デジタル技術を活用した行政サービスの変革に重点的に取り組みます。

また、本プランの推進にあたっては、PDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）に基づき、定期的に進捗状況を確認・評価します。なお、国の政策動向や社会情勢の変化、新たなデジタル技術の登場などを踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しや新規事業の追加を行います。

## 推進体制

本プランを確実に成功させるために、副市長を本部長とする庁内横断組織である「伊万里市デジタルトランスフォーメーション推進本部」が中心となって各事業を進めます。同本部は、本プラン全体の進捗状況を管理するとともに、課題や支障が生じた場合には、最善の解決策を決定する舵取り役となります。

また、各事業を現場レベルで推進するために4つのワーキンググループを設置し、課題解決に向けて組織横断的に取り組んでいきます。

伊万里市デジタルトランス  
フォーメーション推進本部  
(本部長：副市長、副本部長：総合政策部長、  
事務局：情報政策課、企業誘致・商工振興課)

産業WG：地域産業のデジタル化に関すること

行政WG：徹底した行政の効率化に関すること

教育WG：教育環境のデジタル化に関すること

地域WG：地域のデジタル化に関すること

WG：ワーキンググループ

## 基本理念

本プランの基本理念は次のとおりです。

デジタルの活用により、すべての市民が便利で  
幸福な暮らしを実感するまち「伊万里」の実現

市民の暮らしの質を向上させ、地域全体の活性化を図るとともに、すべての市民が「伊万里市に住んでいてよかった」と実感できるよう、デジタル技術を活用しながら、温かみのある市政運営を推進してまいります。

## 行動指針

以下の行動指針に基づき、本計画を取り組みます。

### 市民ファースト

市民の利便性向上を最優先に取り組みます

### デジタルファースト

デジタルを活用したサービスを積極的に提供します

### スピード感重視

社会の変化に乗り遅れることなく取り組みます

### 挑戦と改善

失敗を恐れず取り組み、結果を踏まえた改善に努めます

### 目的でなく手段

DXを目的でなく手段として活用し、本計画を実行します

## 取組指針

基本理念を実現するために、以下の5つの柱に基づいた各施策を推進します。

### 市民サービスの向上

様々なデジタルツールを活用し、市役所に行かなくても手続きが可能なサービスを推進

#### 【取組例】

- オンライン申請の拡充
- eL-QRによるオンライン決済の導入
- 地図情報システムの拡充 等

### 地域運営の充実

行政区内の情報共有の効率化や、関係人口の創出を推進

#### 【取組例】

- 電子回覧板システムの構築
- イベントカレンダーを活用した関係人口の構築
- ふるさと住民登録制度の活用

### 持続可能な産業の発展

様々なデジタルツールを活用し、持続可能な農業の確立や魅力ある観光情報を発信

#### 【取組例】

- データ利活用による農業DXの推進
- 農地利用の促進
- 観光情報の充実 等

## 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

教育データの活用による児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導や、教員の業務を効率化

### 【取組例】

- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- 学校図書館のデジタル化
- 教育現場での生成AIの活用 等

## 職員の業務効率化

様々なデジタルツールを活用し、市役所内の業務効率化を推進

### 【取組例】

- BPRの実施
- RPAやAI-OCRの活用
- 生成AIの活用 等

次ページから、これらの実現に向けた施策について説明します。

## (1) オンライン相談窓口の拡充

### 〈目的〉

子育てや消費生活相談など、相談者が都合の良い時間にスマートフォン等を活用し、チャット機能による相談が可能な体制を拡充する。

また、コミュニティセンター内に専用の相談ブースとパソコンを配置し、申請書の記載方法等についてオンライン上で相談できる環境に加え、聴覚障がい者の方と手話通訳専門員がオンライン上で手話相談ができる環境を構築する。

### 〈取組内容〉

#### ① オンライン相談システムの拡充

令和7年度に導入するオンライン相談システムを活用し、子育てだけでなく、消費生活相談等の部署へ利用を拡充

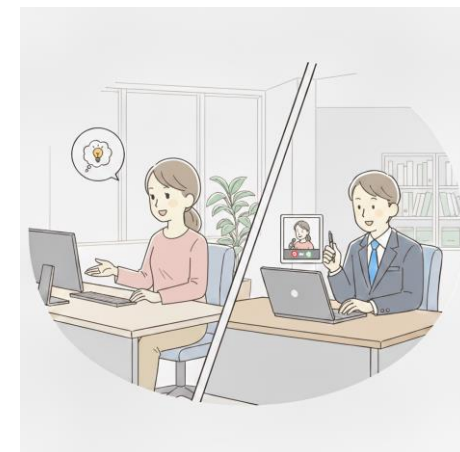
#### ② オンライン相談窓口の構築

各コミュニティセンター等にオンライン相談窓口専用の相談ブースとパソコンを設置し、オンラインで市役所の職員と相談ができる環境を構築

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	子育て等に関する相談の実施		
	利用者の満足度調査		
	消費生活相談等の相談へ横展開		
	課題整理 → 機能改善	課題整理 → 機能改善	課題整理 → 機能改善
②	先進地視察	課題整理・導入部署の検討	実証実験 職員向けアンケート
		課題整理 仕様作成	構築 → 稼働

【オンライン相談窓口のイメージ】



## (2) オンライン申請の拡充

### 〈目的〉

市民の利便性向上を図るため、時間や場所にとらわれず申請可能なオンライン申請を拡充する。

### 〈取組内容〉

#### ① オンライン申請フォームの整備

オンライン申請が可能な業務を選定し、申請フォームの作成、開設、及び適宜修正を実施

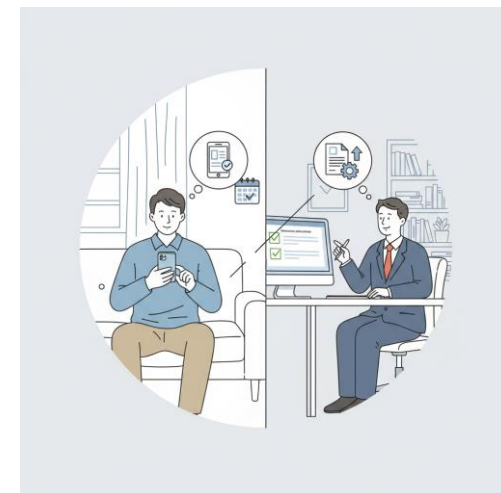
#### ② オンライン申請フォームの整備に向けた職員研修の実施

オンライン申請フォームの作成方法に関する職員研修を開催

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	業務の選定 申請フォーム作成	開設・適宜修正	
		業務の選定 申請フォーム作成	開設・適宜修正
			業務の選定 申請フォーム作成 開設・適宜修正
②	基礎研修 応用研修	基礎研修 応用研修	基礎研修 応用研修

【オンライン申請のイメージ】



## (3) 伊万里市公式LINE内のメニューボタンの見直し

### 〈目的〉

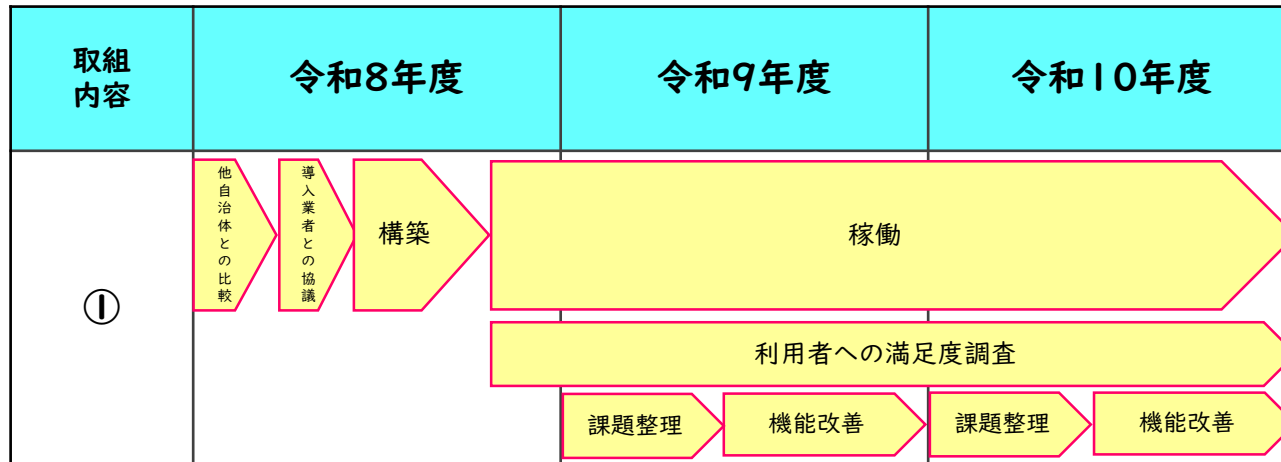
伊万里市公式LINEの普及促進と利便性向上を図るために、利用者が見やすく使いやすいメニューボタンに変更する。

### 〈取組内容〉

#### ①メニューボタンの見直し

伊万里市公式LINEと他自治体の公式LINEを比較し、利用者の見やすさや使いやすさに加え、オンライン申請が充実したメニューボタンへ変更

### 〈ロードマップ〉



【オンライン申請が充実した伊万里市公式LINEのイメージ】



## (4) 公金納付のデジタル化

### 〈目的〉

令和5年度から市税等の納付に活用している地方税統一QRコード(eL-QR)について、納付対象費目を拡大するとともに、eL-QRに対応した納付書発行ができるよう、各種システムを改修する。

※地方税統一QRコード(eL-QR)とは、納税者の利便性を向上させるなどの目的で、地方税の納付書に付される統一規格のQRコードである。納付書に付されたQRコードを読み取ることで、地方税共同機構が管理・運営する「地方税お支払サイト」や、スマートフォン決済アプリを通じたキャッシュレス納付だけでなく、eL-QR対応金融機関であれば全国どの金融機関窓口でも地方税の納付が可能となる。

### 〈取組内容〉

#### ① システム改修

eL-QRを活用した公金納付が可能な納付書に対応するために、各種システムを改修

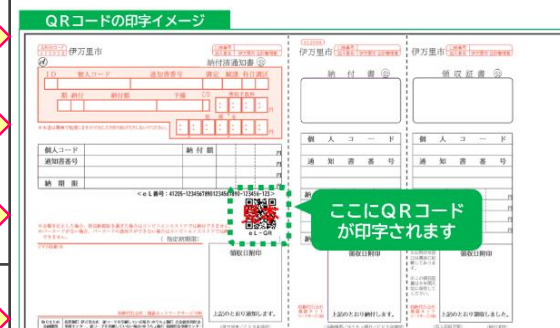
#### ② 市民への広報及び普及促進

eL-QRを活用した納付の普及促進を図るために、金融機関窓口やホームページ等での広報を実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	財務会計システムの改修・テスト	稼働	
	公営企業会計システムの改修・テスト	稼働	
	介護保険料等システムの改修・テスト	稼働	
②	金融機関窓口やホームページ等での広報		

【eL-QRが付与された納付書のイメージ】



The image shows a sample of a tax payment slip (納付書) with an eL-QR code. A green callout box with a white arrow points to the QR code area, containing the text: 「ここにQRコードが印字されます」 (The QR code will be printed here).

## (5) AIチャットボットの構築

### 〈目的〉

市民がスマートフォン等を活用し、都合の良い時間に知りたい情報が取得できるよう、市ホームページ内にAIチャットボットを構築する。

### 〈取組内容〉

#### ①AIチャットボットの構築

市民等からの問い合わせに対し、難解な手続内容も市民等が理解しやすい内容に要約して回答するAIチャットボットを構築

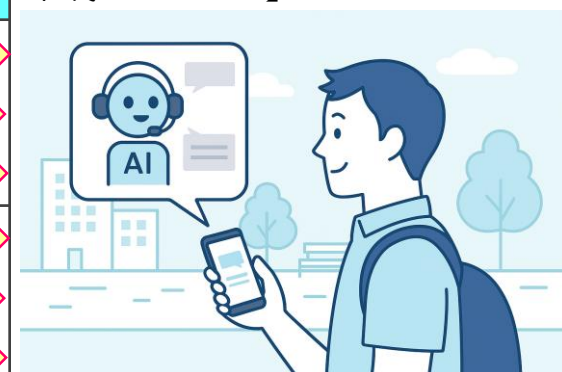
#### ②オンライン申請への誘導

①での回答において引用した参考情報を掲載するとともに、オンライン申請へ誘導するためのURLを掲載

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	構築	稼働	
		利用者アンケート	
		課題整理	機能改善
②	構築	稼働	
		利用者アンケート	
		課題整理	機能改善

【AIチャットボットを活用した情報取得のイメージ】



## (6) 来庁予約システムの構築

### 〈目的〉

オンラインによる相談でなく、窓口で相談や申請を希望する市民等へのサービスとして、事前に担当部署への来庁予約が可能なシステムを構築する。

### 〈取組内容〉

#### ①システムの構築

市民等が事前にオンラインで来庁日時を予約できるシステムを構築

#### ②市民への広報及び普及促進

システムの利用促進を図るために、窓口やホームページ等での広報を実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	実証実験 課題整理 仕様作成	構築	稼働 利用者への満足度調査 課題整理 機能改善 課題整理 機能改善
②		ホームページ等での広報	

【来庁予約システムのイメージ】



## (7) 電子書籍の検討

### 〈目的〉

市民図書館の開館時間を気にせず、利用者が好きな時間にスマートフォン等を利用し、市民図書館の書籍を電子書籍として読むことが可能な環境について、実証実験を実施するとともに、導入を検討する。

### 〈取組内容〉

#### ① 児童生徒向け電子書籍の実証実験

児童生徒向けの電子書籍が利用できる試験環境を構築し、実証実験及び利用状況を分析

#### ② 電子書籍の拡大

児童生徒向け以外の電子書籍が利用できる試験環境を構築し、実証実験及び利用状況を分析

#### ③ 課題整理

実証実験の結果を踏まえ、課題や費用対効果の整理に加えて、関係部署と導入可否を検討

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	環境構築 実証実験 利用者の満足度調査・分析	実証実験 利用者の満足度調査・分析	
②		実証実験 利用者の満足度調査・分析	
③			課題整理 導入可否の検討

### 【電子書籍のイメージ】



## (8) 地図情報システムの機能拡充

### 〈目的〉

地図情報システム「いまりんマップ」について、都市計画図の更新と併せて、防災、観光、交通など様々な場面で活用可能な機能の拡充を図る。また、国や民間の有する様々なデータといまりんマップが連携し、市民に有益な政策立案に利活用することができる環境を構築する。

### 〈取組内容〉

#### ①都市計画図の更新

いまりんマップの基礎データとなる都市計画図の更新

#### ②データ連携の実施

国や民間の有する防災、観光、交通などのデータと、いまりんマップが連携可能な機能を構築

#### ③データの利活用

オープンデータをはじめ様々なデータを分析し、政策立案に利活用することができる環境を構築

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	関係部署との意見交換 課題整理 仕様作成	構築	稼働 利用者への満足度調査 課題整理 機能改善 課題整理 機能改善
②		関係部署との意見交換 課題整理 仕様作成	構築 稼働 利用者への満足度調査
③			データ分析 政策立案

### 【データ連携のイメージ】



## (1) 電子回覧板システムの構築

### 〈目的〉

各世帯への情報伝達の迅速化とペーパーレス化による省資源化に加え、災害時の安否確認や独居世帯の見守り等が可能な電子回覧板システムを構築する。

### 〈取組内容〉

#### ① 実証実験等の実施

LINE等のメッセージアプリや専用の電子回覧板アプリを活用した実証実験等を実施

#### ② システムの構築

システムの構築及び一部地域での運用を開始

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	先進地視察 実証実験 課題整理 仕様作成		
②		構築	稼働 利用者アンケート 課題整理 機能改善 課題整理 機能改善

【電子回覧板のイメージ】



## (2) イベントカレンダーの活用による交流機会の創出

### 〈目的〉

市民や市外の観光客が参加したいイベントを把握できるよう情報の一元化や情報発信を実施し、居住地以外の地域に関わる「関係人口」の創出を図る。

### 〈取組内容〉

#### ① イベント情報の一元化

イベント情報を一元化したイベントカレンダーをホームページ上に構築

#### ② 伊万里市公式LINEを活用した情報発信

ホームページだけでなく伊万里市公式LINEにもイベントカレンダーを掲載することで、市内外の住民が様々なイベント情報を知る機会を創出

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	仕様作成 → 構築	稼働	
		利用者への満足度調査	
		課題整理 → 機能改善	課題整理 → 機能改善
②		稼働	
		利用者への満足度調査	
		課題整理 → 機能改善	課題整理 → 機能改善

【イベントカレンダーのイメージ】



## (3) ふるさと住民登録制度の活用

### 〈目的〉

伊万里市に継続的に関わる関係人口を拡大し、地域の持続可能性を高めるために、総務省が検討する「ふるさと住民登録制度」を活用する。

### 〈取組内容〉

#### ①伊万里市公式LINEの改修

利用者の見やすさや使いやすさを重視したメニューボタンを変更

#### ②伊万里市公式LINEを活用した情報発信

各種イベントにて公式LINEの登録を呼びかけるとともに、登録者に対してイベントやふるさと納税等の情報を発信

#### ③全国共通システムの活用

国において導入が検討されているふるさと住民登録制度に係る全国共通システムと公式LINEとの連携、及び同システムから抽出されるデータを活用し、地域の活性化や担い手確保に関する新たな政策を立案

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	他自治体との比較 導入業者との協議 構築	稼働 利用者アンケート 課題整理 機能改善	稼働 課題整理 機能改善
②	情報発信		
③	仕様作成	公式ラインとの連携構築	稼働 データ集計 データ分析 政策立案

### 【関係人口のイメージ】



## (1) データを活用した農業DXの推進

### 〈目的〉

関係機関との連携により、農業におけるデジタル人材の確保・育成を図る。また、「経験と勘に頼る農業」から、データに基づいて農作物にとってより最適な栽培管理を行う「データ駆動型農業」へ移行する。

### 〈取組内容〉

#### ① 研修会の開催

デジタル技術を活用した農業に関する生産者や指導員向けの研修会を開催

#### ② 動画の作成

先進的な生産技術等をまとめた動画を、関係機関・団体と連携して作成

#### ③ データ駆動型農業への移行

ウェアラブルデバイス等を活用した現地指導に加えて、指導記録をデータベース化し、経験と勘だけでなく、データに基づいた営農指導体制を構築

※「ウェアラブルデバイス」とは、手首や腕、頭などに着けて使用する小型の情報端末を指す。

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	研修会の開催	研修会の開催	研修会の開催
②	動画の作成・更新		
③	先進地視察 関係機関との調整 課題整理	仕様作成 構築	稼働 利用状況の検証

【ウェアラブルデバイスを装着した生産者への指導のイメージ】



## (2) 農地情報の可視化による農地利用の促進

### 〈目的〉

農地の利用状況や作付状況について、職員による現地確認に代わり、衛星データ解析やGIS技術を活用することで、職員の業務省力化を図る。

また、農地の利用状況や作付状況をいまりんマップ上に公開し、農地所有者と農地利用希望者をマッチングできる機会を創出する。

### 〈取組内容〉

#### ①先進自治体における導入事例の調査及び課題整理

先進自治体での衛星データ解析などを活用した農地パトロールや、農地情報の公開について調査及び課題を整理

#### ②実証実験及びシステムの構築

先進自治体で導入されているシステムを活用した実証実験の実施及びシステムの構築

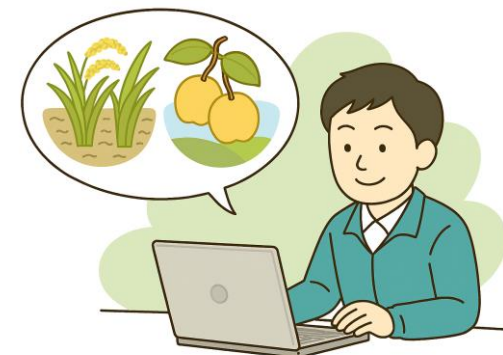
#### ③いまりんマップへの農地情報の公開

農地所有者と市内外の農地利用希望者をマッチングできるよう、農地の利用状況や作付状況をいまりんマップに公開。

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	先進地視察 → 課題整理		
②		実証実験 → 課題整理	仕様作成 → 構築 → 稼働
③			仕様作成 → 構築 → 公開

【いまりんマップ上での農地情報の確認のイメージ】



## (3) 観光情報の充実

### 〈目的〉

市内団体が運営するホームページ上で、観光客の関心や目的に応じた旅行プランについて、AIによる提案が可能な環境を構築する。

### 〈取組内容〉

#### ①先進自治体における活用事例の調査及び課題整理

先進自治体で活用されているシステムについて調査及び課題を整理

#### ②実証実験等の実施

先進自治体で導入されているシステムを活用した実証実験の実施及び実験後の課題を整理

#### ③システムの構築

実証実験の結果を基に、仕様作成及びシステムを構築

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	先進地視察 → 課題整理		
②		実証実験 → 課題整理	
③			仕様作成 → 構築

【AIによる旅行プラン提案のイメージ】



## (4) 電子請求書及び電子契約書システムを活用した地域経済の活性化

### 〈目的〉

オンライン上で事業者間の取引が可能な電子請求書及び電子契約書システムを伊万里市が構築し、地域経済の活性化を推進するための新たな取引ツールとして、事業者を活用してもらう。

### 〈取組内容〉

#### ①システムの構築及びアカウントの付与

電子請求書及び電子契約書システムを市が構築し、システム操作に必要なアカウントを指名登録事業者等へ付与

#### ②事業者向け説明会の開催

システム操作に加え、システムの活用による業務の効率化に関する説明会を開催

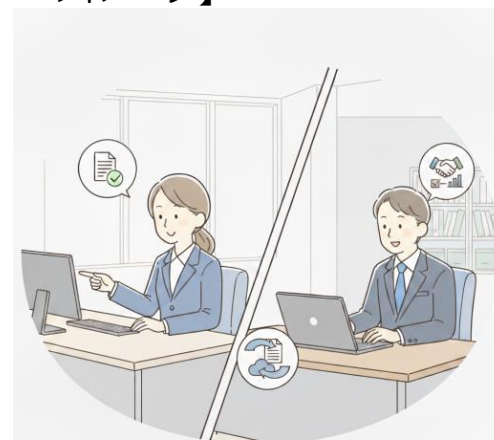
#### ③デジタル化された取引基盤の確立に向けた広報の実施

事業者間での取引のデジタル化を推進するために、ホームページ等を活用した広報を実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	構築	稼働	
		アカウント付与	
		事業者向けアンケート	事業者向けアンケート
		課題整理	課題整理
		機能改善	機能改善
②	説明会	説明会	説明会
③	ホームページ等での広報		

【電子契約書及び電子請求書のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (1) デジタル・シティズンシップ教育の推進

### 〈目的〉

伊万里市プログラミング教育ガイドブックに基づいた学習指導に加え、児童生徒一人ひとりの論理的思考力を育成するために、プログラムで動くロボットやドローンなどのデジタル技術の体験を通じて、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。

### 〈取組内容〉

#### ① 教員への研修の実施

伊万里市プログラミング教育ガイドブックに基づいた研修や、ICTに関する研修を開催

#### ② 市内外IT企業との連携によるプログラミング教育の実施

中学校及び義務教育学校で実施している、ロボットやドローンなどを活用したプログラミング教育について、小学校でも体験的に実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	研修会の開催	研修会の開催	研修会の開催
②	市内外IT企業との調整	市内外IT企業との調整	市内外IT企業との調整
	小学校での実施	小学校での実施	小学校での実施
	小学校の日程調整	小学校の日程調整	小学校の日程調整
	内容の検証・課題整理	内容の検証・課題整理	内容の検証・課題整理

【プログラミング教育のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (2) 学校図書館のデジタル化

### 〈目的〉

児童生徒へ1人1台配置しているタブレット端末を活用し、読書の楽しさが広がる環境を構築する。

### 〈取組内容〉

#### ①学校図書館活用ツールの設定

児童生徒が様々な書籍と出会えるように、学校図書館に所蔵された書籍が検索できるツールをタブレット端末に設定

#### ②各学校図書館と市民図書館との連携

市民図書館に所蔵された書籍を検索できるツールをタブレット端末に設定

#### ③学校図書館活用ツールを活用したデータ分析

学校図書館活用ツールにある「感想スタンプ」機能などを活用して、教員が児童生徒の読書に対する関心を分析し、読書意欲を向上させる授業を実施するとともに、学習支援につながる書籍を収集

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	実証実験 → 課題整理 → 仕様作成	構築	稼働 児童生徒へのアンケート 課題整理 → 機能改善
②	実証実験 → 課題整理 → 仕様作成	構築	稼働 児童生徒へのアンケート 課題整理 → 機能改善
③	実証実験 → 課題整理 → 仕様作成	構築	稼働 データ集計 → データ分析 → 授業の実施 資料収集

【タブレット端末での書籍検索のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (3) 教育現場での生成AIの活用

### 〈目的〉

教員の校務の支援だけでなく、生徒の学習意欲や探究心を向上させるツールとして、教育現場で生成AIを活用する。

### 〈取組内容〉

#### ①生成AI活用に係るガイドラインの策定

教員及び生徒が生成AIを適切に利用するためのガイドラインを策定

#### ②教員による生成AIの活用

魅力ある授業のアイデア出しや、生徒一人ひとりの理解度に合わせた教材の作成等といった教員の校務の効率化に活用

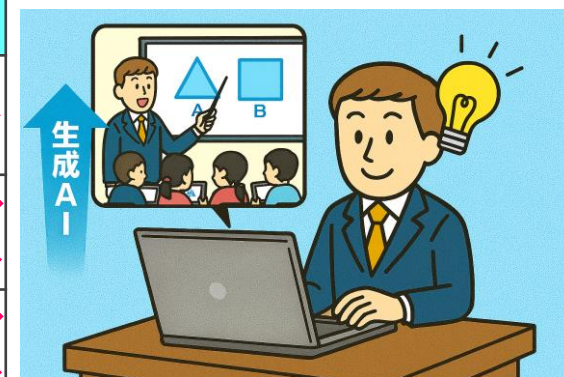
#### ③生徒による生成AIの活用

生成AIの基礎知識や注意点に関する授業に加え、生徒が学習テーマに関する情報を生成AIで収集し、重要なポイントを短時間で整理できる能力を身に付ける授業を実施。

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	ガイドラインの策定	ガイドラインの見直し	ガイドラインの見直し
②	先進校の調査 課題整理・導入の検討	一部学校での仮運用	仮運用での課題整理 本格運用 利用状況の検証・課題整理
③	先進校の調査 課題整理・導入の検討	一部学校での仮運用	仮運用での課題整理 本格運用 利用状況の検証・課題整理

【生成AIを活用した教育のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (4) 教員のICT活用能力の向上

### 〈目的〉

デジタルドリルや電子黒板等を活用した効果的な授業に関する教員向け研修の開催や、教員同士の情報共有が可能なポータルサイトの機能を強化する。

### 〈取組内容〉

#### ①実践的な研修の計画・実施

佐賀県が開催する専門的な研修と合わせて、校内で日常的に役立つ技術を教え合う校内研修を実施

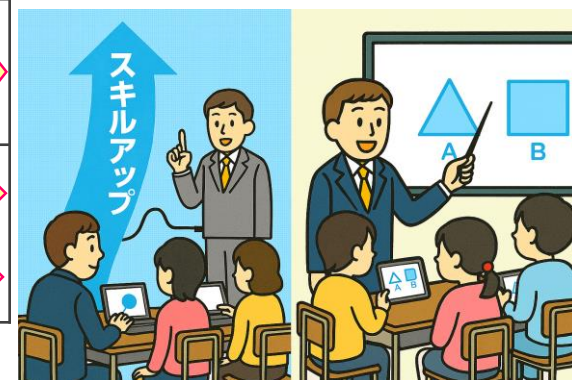
#### ②ポータルサイトの機能強化

令和4年度に構築した教員同士が情報共有できるICT利活用ポータルサイト内に、授業改善や校内での問題解決等に関するマニュアルや特色ある授業の成果が共有できる機能を追加

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	カリキュラムの作成 教職員向け研修会の実施 アンケート実施	カリキュラムの見直し 教職員向け研修会の実施 アンケート実施	カリキュラムの見直し 教職員向け研修会の実施 アンケート実施
②	要望調査 調査結果集計 仕様作成	構築	稼働 利用状況の検証 機能改善

【教職員の研修及び研修後の授業風景のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (5) 教員の校務に係る効率化

### 〈目的〉

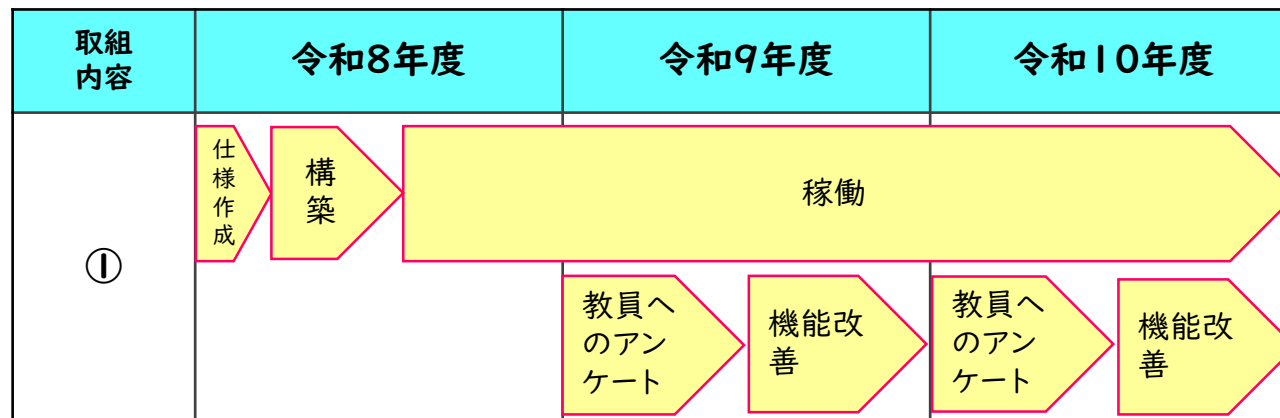
デジタル技術の活用により、教員の校務に係る負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保する。

### 〈取組内容〉

#### ①自動採点・分析システムの導入

校内で実施されるテストの採点・集計に加え、児童生徒一人ひとりの学習進捗の分析を自動化できるシステムを導入

### 〈ロードマップ〉



【自動採点のイメージ】



# 個別最適な学びと創造性を育む教育の推進

## (6) 教育データの利活用

### 〈目的〉

教育データの利活用による児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導を実施するとともに、児童生徒が自身の学習状況を把握し、主体的に学習方法を考える機会を創出する。

### 〈取組内容〉

#### ①個別最適な指導の実施

教員がデジタルドリルや校務支援システムの教育データを活用し、児童生徒一人ひとりの学習状況を把握することで、指導内容の立案や課題解決を実施

#### ②学習データの活用

児童生徒がデジタルドリルでの学習データを確認し、自身のつまずきや到達度を把握して自律的に学習計画を立案できる能力を育成

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	教職員向け研修会の実施 → 指導内容等の立案・実施	前年度の課題整理・改善 → 指導内容等の立案・実施	前年度の課題整理・改善 → 指導内容等の立案・実施
②	教職員向け研修会の実施 → 児童生徒への指導	前年度の課題整理・改善 → 児童生徒への指導	前年度の課題整理・改善 → 児童生徒への指導

【教育データの利活用のイメージ】



## (1) 業務省力化に向けたBPRの実施

### 〈目的〉

市民サービスの更なる向上につながる政策立案や窓口での相談対応など、職員が市民の満足を第一に考える業務に集中できる環境を整えるために、BPR (Business Process Re-engineering) を引き続き実施する。

※BPRとは、既存の業務プロセスについて根本的な見直しを行い、改革することを指す。

### 〈取組内容〉

#### ①ヒアリング及び業務フローの見直し

令和6年度に実施した全庁業務量調査に基づき、対象業務を抽出し、業務内容のヒアリング及び業務フローの見直しを実施

#### ②業務内容の再検証

現在実施している業務について、今後も継続的な実施が必要か検証を実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	業務抽出 ヒアリング・業務フローの見直し	業務抽出 ヒアリング・業務フローの見直し	業務抽出 ヒアリング・業務フローの見直し
②	業務内容の調査・ヒアリング 事業継続の決定	業務内容の調査・ヒアリング 事業継続の決定	業務内容の調査・ヒアリング 事業継続の決定

### 【BPRのイメージ】



## (2) RPA及びAI-OCR等の活用

### 〈目的〉

BPRの結果に基づき、RPA及びAI-OCR等のツールを活用し、業務効率化を図る。

※RPA (Robotic Process Automation) とは、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術を指す。

※AI-OCRとは、AI (人工知能) 技術を活用して、紙の書類上に記載された文字を読み取り、テキストデータに変換する技術を指す。

### 〈取組内容〉

#### ①活用可能な対象業務の抽出

「(1)業務省力化に向けたBPRの実施」でヒアリングした業務の中から、RPA及びAI-OCR等が有効な業務を抽出

#### ②RPA及びAI-OCR等の活用

①で抽出した業務について、民間との協働によりRPA及びAI-OCR等の稼働に必要な設定を実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	<p>ヒアリング・業務フローの見直し</p> <p>業務抽出</p>	<p>ヒアリング・業務フローの見直し</p> <p>業務抽出</p>	<p>ヒアリング・業務フローの見直し</p> <p>業務抽出</p>
②	<p>設定</p>	稼働・適宜修正	
		<p>設定</p>	<p>稼働・適宜修正</p> <p>設定</p>

【RPAを活用したイメージ】



## (3) AIを活用した業務改善

### 〈目的〉

職員の業務効率化や生産性を向上させるために、積極的に生成AIを活用する。また、住民の来庁時の滞在時間を短縮させるために、対話型AIを導入する。

### 〈取組内容〉

#### ①職員向け生成AIの活用

令和7年度に導入した生成AIを引き続き活用するとともに、現在実装されていない機能を拡充

#### ②各種計画等を学習させた本市独自の生成AIの構築

各種計画や議事録を生成AIへ読み込ませるとともに、随時更新することで、企画立案等で活用

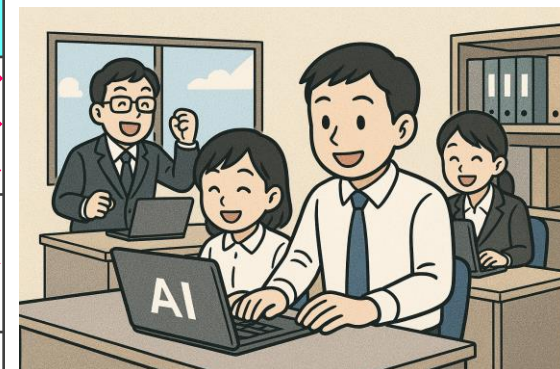
#### ③対話型AIの導入

市民からの問いかけに対して、職員に代わって自然な会話が可能なAIを窓口に設置

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
①	現行の生成AIを運用			
	職員向けアンケート			
	追加機能の実証実験	課題整理 仕様作成	構築	稼働
②	各種計画の確認	更新	各種計画の確認	更新
			各種計画の確認	更新
③	先進地視察	課題整理・導入の検討	実証実験 職員向けアンケート	課題整理 仕様作成
				構築

【生成AI活用のイメージ】



## (4) 電話機能のAI化

### <目的>

市民が問い合わせをしたい部署へ誘導する電話自動応答システム (IVR:Interactive Voice Response) を導入するとともに、閉庁時の問い合わせにもAIで応対できる機能を導入する。

### <取組内容>

#### ①電話自動応答システムの導入

電話機器の更新と併せて、自動音声による案内とプッシュボタン操作で問い合わせをしたい部署へ誘導する、電話自動応答システムを導入

#### ②閉庁時における応対機能の導入

閉庁時における市民からの問い合わせに対して、AIによる応対が可能な機能を導入

### <ロードマップ>

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	構築	稼働 職員及び市民向けアンケート	稼働
		課題整理 → 機能改善	課題整理 → 機能改善
②	先進地視察 課題整理・導入の検討	実証実験 職員向けアンケート 課題整理 仕様作成	構築 稼働

【自動応答を活用した電話のイメージ】



## (5) 公用車に関する手続の簡素化

### 〈目的〉

公用車に関する手続きを簡素化する。

### 〈取組内容〉

#### ① 公用車運転日誌のペーパーレス化

庁内のペーパーレス化を推進するために、公用車の運転記録をオンライン上で入力

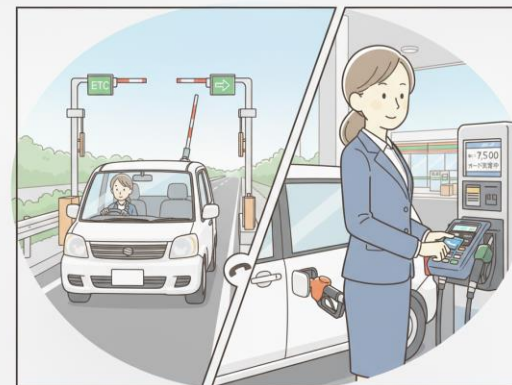
#### ② キャッシュレス決済の推進

キャッシュレス決済を推進するために、年次的にETC機器を搭載した公用車を導入

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	構築	稼働	
		職員向けアンケート	
		機能改善	
②	各種手続の実施	稼働	
		職員向けアンケート	課題整理

【ETC活用及び給油時におけるクレジット決済のイメージ】



## (6) 電子請求書及び電子契約書システムの導入

### 〈目的〉

財務会計システムにおける電子決裁の機能強化を図るため、電子請求書及び電子契約書システムを導入する。

### 〈取組内容〉

#### ①システムの導入及び改修

電子請求書及び電子契約書システムの導入、及び既存の財務会計システム等の連携に必要なシステム改修、並びに会計規則を改正

#### ②事業者への広報及び普及促進

電子請求書及び電子契約書の普及促進を図るために、指名登録事業者への広報及びシステムの操作研修会を随時実施

### 〈ロードマップ〉

取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①	構築	稼働	
		職員への満足度調査 → 課題整理 → 機能改善	職員への満足度調査 → 課題整理 → 機能改善
②	ホームページ等での広報		
	説明会	説明会 → 説明会	説明会 → 説明会
		事業者への満足度調査 → 課題整理 → 機能改善	事業者への満足度調査 → 課題整理 → 機能改善

【電子契約書及び電子請求書のイメージ】

